プレスリリース

令和８年11月４日
村 山 総 合 支 庁

報道関係者　各位

県立左沢高校生が地元企業の社会人と交流します！

西村山地域広域連携協議会では、若者の地元定着や将来的な地元回帰の促進を図るため、「ふるさとを語れるようになろうプロジェクト」の一環として、「高校生と社会人の交流会」を下記のとおり開催します。

つきましては、本事業について取材くださるようお願いします。

記

（１）日　　時　令和８年 11 月６日（金）　13:35～15:25
（２）場　　所　県立左沢高等学校（大江町大字藤田字山中 816-3）
（３）参 加 者　県立左沢高等学校　１年生 31 名
（４）参加企業　日東ベスト㈱、㈱ホテルシンフォニー、(福)碧水会（総合福祉施設らふらんす大江）、㈱大江町産業振興公社（道の駅おおえ）、大江町
（５）内　　容　参加企業の社会人講師と生徒が仕事や将来等をテーマに、交流を行うもの（詳細別紙のとおり）。

参　考

○西村山地域広域連携協議会について

西村山地域の１市４町及び村山総合支庁西村山地域振興局が連携して取り組むべき行政課題について研究・検討を深め、連携の推進を目的として、公共交通や若者の定着回帰の課題等に取り組んでいるもの。

○「ふるさとを語れるようになろうプロジェクト」について

西村山地域の４高校の生徒にふるさとの良さを再認識してもらい、ふるさと自慢ができる人材を育成するとともに、若者の地元定着・回帰への動機づけを図るため、高校生が地元の産業や歴史、文化等を学ぶ機会を提供するもの。

【問い合わせ先】
村山総合支庁総務企画部　西村山総務課連携支援室
（西村山地域広域連携協議会事務局）
連携支援専門員　大友　　TEL:0237-86-8140
【広報監】
総務企画部長　音山

「高校生と社会人の交流会」実施要領

１　目　　的

高校生が多様な職業、多様な生き方について学ぶ機会を設けることにより、地元で働くことや地域社会への理解を深め、ひいては、若者の地元定着や将来的な地元回帰の促進を図ることを目的とする。

２　日時・会場

（１）日　時　　令和８年 11 月６日（金）　13:35～15:25（5･6 校時）
（２）会　場　　山形県立左沢高等学校

３　実施主体等

（１）実施主体　　西村山地域広域連携協議会
（２）実施高校　　山形県立左沢高等学校
（３）対象者　　１年生 31 名

４　参加企業・団体（５団体）

日東ベスト㈱、㈱ホテルシンフォニー、社会福祉法人碧水会（総合福祉施設らふらんす大江）、㈱大江町産業振興公社（道の駅おおえ）、大江町

５　実施内容

・教室等（５室）に交流会会場を設置
・各会場に社会人講師１名～２名、生徒６～７名を配置して交流会を実施
・１回あたりの所要時間は 30 分程度
　①　自己紹介（３分）
　②　社会人講師の話（20 分）
　③　質疑応答（７分）
・１回目終了後、生徒が入れ替わって２回目を実施

６　タイムスケジュール（概略）

13:20～13:30　（10 分）　受付
13:35～13:50　（15 分）　生徒は会場準備、社会人講師への説明
13:55～14:25　（30 分）　交流会（１回目）
14:25～14:35　（10 分）　休憩・移動
14:35～15:05　（30 分）　交流会（２回目）
15:05～15:10　（ 5 分）　移動
15:10～15:25　（15 分）　振り返り、アンケート